酪農の現状を訴える

陸別町の農協総会

陸別町農業協同組合の第二十七回通常総会は三十日午前十時すぎから福祉センター大ホールに組合員百九十八名（うち委任状四十六名）が出席してひらき、全員で組合員綱領を朗読してから岡田組合長のあいさつ来賓紹介につづいて、杉田町長と柿川北農帯広支所主幹の祝辞があり、美濃衆議河口参議からの祝電披露があつて、議長団に西岡隆、今村友定氏を推して議事に入りました。

はじめに干場管理課長が業務報告書の説明があり、川初代表監事から『八百二十七万円の利益金は役職員の努力のたまもの…』との監査報告があつて質疑に入り

―畜産センターの負担金は当初六百万円が六百五十五万円になつたのは赤字のためか

岡田組合長　三年前から農協と町が四分六分の負担で発足したが、一億一千万円の借入金の償還があり、昨年夏七十四頭が死亡し三百万円の見舞金を負担した五十五万円は町の職員が一名きたための負担で、黒字か赤字かといえばいまは施設に投資している、五人の理事と議会から五人で慎重に審議しているが、本年度から町営か農協営か一本の姿にすすめたいので建設的な意見をおききしたい

西岡議長　畜産センターにしぼつて検討したい

―町であれば赤字でも倒れないが農協は赤字でつぶれた例がある、もつと研究すべきでないか

岡田組合長　赤字でなく先行投資をしている、町営が好ましいとの意見もある本年は七百万円近い負担金をもつた、牧草も雨天で難しい作業もあり立派な乾燥にと全力をあげているが放牧料が安い、一日三百円も三百五十円もとれず差額を負担している、本年は二千五百万円ほどで新しく事業を拡大して農機具を入れ畜舎、事務所を建てる、施設投資が尨大で入牧料が物価とつりあわない

―草が悪い、寝ワラのような草を喰わせている、ヘイキュウブはどうか、入牧料だけでなく草を他へ売つているのでないか

岡田組合長　ヘイキュウブは検討しているが四、五千万円かかる、牧草は本年七〇％を一般に公売する

―五月に入りセンターの運営について一本化といつても時期が遅いのではないか、緑の園（更生ホーム）とのカラミあいはどうなるのか

岡田組合長　本年度は骨格予算なのでご意見によつて補正したい、緑の園には雪印から百頭を入れセンターとの関係は六カ月飼つたものをセンターで預かるのが原則となる、二つが同じ事業をこす考えはない、センターは哺育となる

―畜産センターの所有者は個人だが、地価はあがつており買上げるのか

岡田組合長　七五〇％は組合員の増反地は無条件で放棄した、増地増反のさい同意書で提供をうけた

―農協がやるか町がやるか、町が一本でやることを訴えたい

―農民のためにもらつたセンターの土地であり我々農民が運営できないのは情けない、運営は農民でなければわからない、共同経営でやつても六百万円かかる我々で運営すれば利益が出る、土地の所有権は農協一本化で我々の財産となる、農協一本にすればよい

岡田組合長　両論となつた、町営の方が強いようだが四分六分にしたのは条件がある、一億一千万円の借入金は十五年で償還せねばならない、町で一切もつならよいが四分六となる、土地も四分で道路をぬき二四〇％が農協の資産として残したい、町営がよいとしても問題点がある、八三％が酪農なので施設は必要であり、将来において全町民が利用するなら町営がよいが一銭も出さないで町で運営にはいかない

西岡議長　この場で結論は出せないので理事会で検討するようにしてはどうか

などの論議があつてこれを承認、つづいて本年度の事業、収支計画案にうつり

―指導事業は文章も活字も昨年と全く同じではないか

牧野指導係長　かかげれば三十も四十もあるが、相当の人員がいるので、この程度で重点的にやりたい

―上陸別で草地造成事業が本年度から実施されるが農地の移動が大きな問題で大きな負債をもつており、できれば農協、町で移動にあたり押えてもらい配分して頂きたい、個人の力ではできない、指導事業のなかですすめてほしい、構造改善事業もことしで最終なので畜舎施設など新しい事業にとりくんでもらいたい、バラスをとるのも難しいので業者から一括購入は考えられないか

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久 久保呉服店
足寄町　T二一四八

岡田組合長　五二林班の草地事業の資金その他は町と実施にあたり協議していく、草地は六百万円まで借りられるが、山林、原野は農地取得に入らないので検討したい、指導部事業の営農計画百戸は全部完了した畜舎は坪十五万円もかかるので価格対策が問題となる

（以下次号へつづく）

小坂山の開発

現地で説明会

アショロ・ハイランドの本格的な建設工事の開始に先立つて、二十六日に小坂山下手の白糸地区と上手の茂喜登牛地区の住民の協力を求めるための説明会が、いずれも開拓婦人ホームを会場にして午前、午後にわたつて二カ所でおこなわれ町から土田商工観光課長、土居同課長補佐、企業側から野上電鉄不動産の中野副社長、黒沢専務、日本道路の津田釧路営業所長、大杉足寄出張所長に設計者の中島竜彦氏らが出向きました

この説明会で、かつて万国博の設計を担当した中島氏は『私は企業よりでも町よりでも住民よりでもない中庸な立場で、設計にあたつている』として、九四〇％の面積を三つにわけて、尾根地帯はスキー場にしてのリフトを三基設置し、将来は八基にして小坂山の頂上から滑走する大スロープとなる、中腹地帯は自然動物園とゴルフ場でこの動物園は動物をオリに入れて眺めるのではなく、動物が自然に生息しているところでむしろ人間の方がオリに入る形になる、この中央に若人の家を設けて手軽に宿泊ができ天候異変の場合などの待避場となる、ゴルフ場は一コース九ホールで、二コースは公式試合のできるものにし、一コースは初心者、家族向きとし、ゴルフ場の中央にホテルとショッピングセンターを設けて外来者の便宜をはかる、平坦地帯は別荘地にして、ここにスポーツ公園や野外劇場を設けて町内や近隣の人々にも楽しんでもらう、とのことでした。

ことしは五〇〇％のリフトを三基設置し、将来は八基にして小坂山の頂上から滑走する大スロープとなる、中腹地帯は自然動物園とゴルフ場でこの動物園は動物をオリに入れて眺めるのではなく、動物が自然に生息しているところでむしろ人間の方がオリに入る形になる、この中央に若人の家を設けて手軽に宿泊ができ天候異変の場合などの待避場となる、ゴルフ場は一コース九ホールで、二コースは公式試合のできるものにし、一コースは初心者、家族向きとし、ゴルフ場の中の基準以上に規制する、町として道々改良、塩幌川保全に道と折衝中などの説明があり、さしあたり着工ロとなる茂喜登牛地区での労務者集団の入り込みにともなう不安について日本道路側では現在、国道、道々の舗装工事をしていて足寄市街に宿舎があるのでの通勤するとのことでした。

それよりも、ハイランドの完成によつて農畜産物や特産品の需要、観光客やスキー客の民宿など、小坂山周辺の農業形態も変つていくのではないかという話し合いにもなりました。

これについて中島氏は『私は九四〇％のなかだけの設計を引受けたが、九四〇％のそと側が問題で、道内の統計や資料から推定すれば、このハイランドには一日平均に三千人の人と一千五百台の車が往来することになるので、ひとつの市街地ができる計算で水や道路や施設を考えているが、そと側もこれにマッチして頂きたい、たとえばスキー場などは大がかりなものなのでスキー客は収容しきれない』とのことで、企業の開発事業がすすむとともに、周辺の対応体制が併行していくことになりそうです。

現地ではすでに日本道路によつてハイランドへの取付道路工事がはじまつていますが、いずれも農振地域にかこまれているので町や道の事務手続きが〝お荷物〟になつているようです。

（写真は白糸会場で中島氏の説明をきく住民）

白糸地区では水の問題や交通量の増大、ハイランドの行政区域が白糸にふくまれるのかどうかについて論議があり、企業側では汚水雑排水の処理については道

消防後援会が再スタートへ

足寄消防団第一分団後援会（両角章会長）では二十八日に消防会館で役員総会をひらいて体質改善のためとして役員の総辞職を決めました。

これは昨年九月の町議会で神本議員が『消防後援会は税金の二重取りとの批判がある』との質問にたいして小林町長が是正を約束し本年度予算に後援会費相当分を計上して各戸から後援会費徴収の必要がなくなり会の活動性格が変つたためで、いつたん解散の形をとりました。

こんごの在り方については両角章、鈴木信明、野村正雄の三氏を準備委員にあげて検討したうえで再スタートをはかることになりました。

新工場の誘致が有望

陸別

陸別町で昨年いらい誘致をすすめていた新工場の進出が有望となりました。

これは東亜割りばし工場（新得町でも操業中）で、場所は町立病院跡を希望しているものの、診療所新築までは使用中なので本年進出となれば新町の国道沿いになる予定で、従業員は婦人を主にして三、四十名で木材消費は一日四〇〇立方％といわれ、杉田町長による誘致第一号になります。

大自然のなかの人工美

―いで湯のふるさと―

観光と保養の 芽登温泉

足寄町芽登　T二八五五

武藤野菜店へ
足寄町南一区　T二七一二
春の野菜苗は
ナス
ナンバン
トマト
キャベツ
早生
交配苗
長岡一代

マツカラー
スチール　チエンソー代理店
共立
刈払機各種　電動工具　造林用具
打刃物類　（機械迅速修理）
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T二三〇七

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
―あらゆる電気器具―
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ビクター
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T二三六二　工場西五区

㊐ 自動車
霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
新津はなや
足寄町西三区　T二六二

明るいスナック
シャンブル
足寄町南一区　T二四三九